

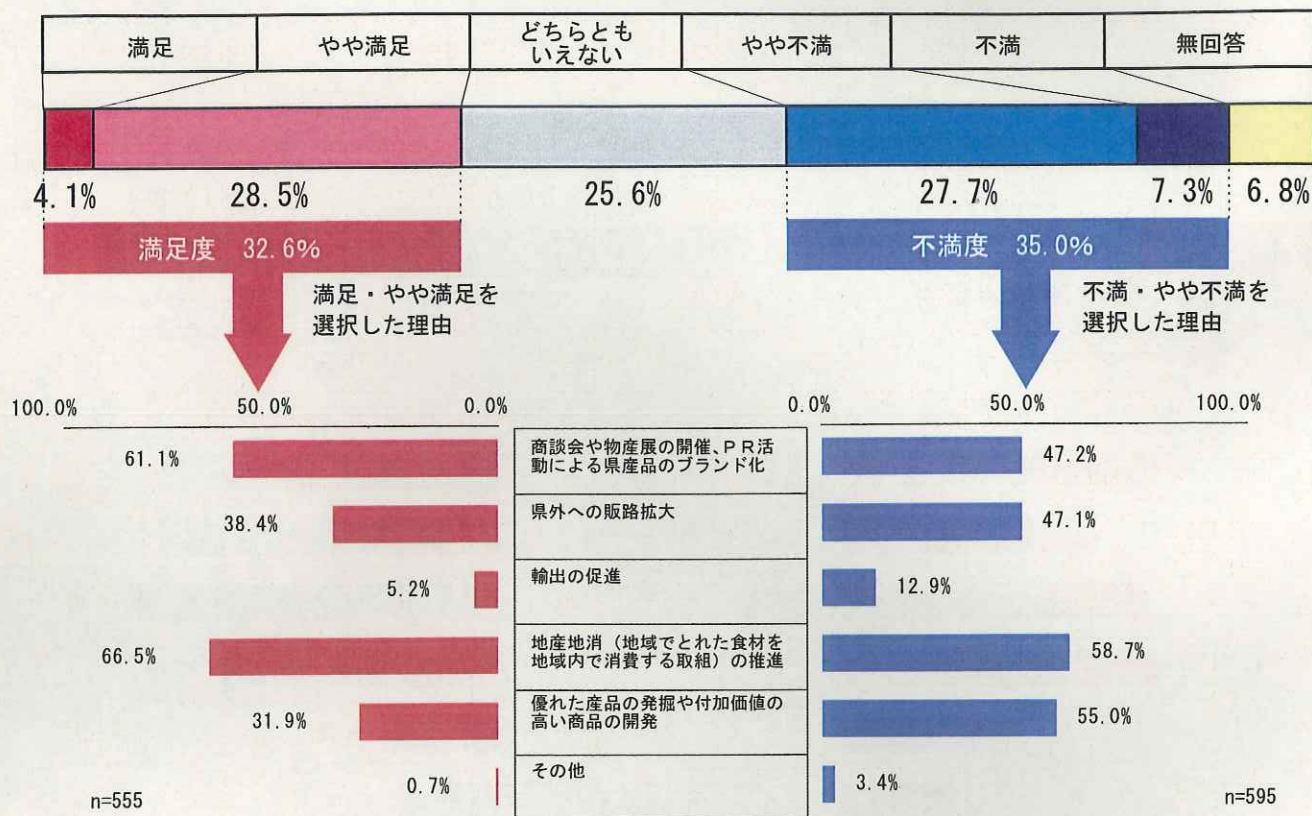
[5-6] 将来を担う人材育成



【分析結果】

- ・ 不満度 (50.5%) が満足度 (12.7%) を 37.8 ポイント上回った。
- ・ 40～60 歳代では不満度が 5 割を超え、他の年代に比べて特に高くなっている。性別では、男性 (57.2%) の不満度が女性 (45.1%) に比べて高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「地域づくりを担うリーダーの育成」、「福祉に携わる人材の確保」が最も多く、次いで、「農林業や漁業の担い手となる人材の確保」となっている。
- ・ 不満度の要因をみると、「農林業や漁業の担い手となる人材の確保」が最も多く、離島地域 (59.7%) で他の地域より多くなっており、女性 (43.2%) に比べて男性 (58.5%) が多い。次いで「ものづくり産業を担う人材の育成」、「地域づくりを担うリーダーの育成」と続いている。「福祉に携わる人材の確保」は、男性 (32.3%) に比べて女性 (47.5%) が多くなっている。

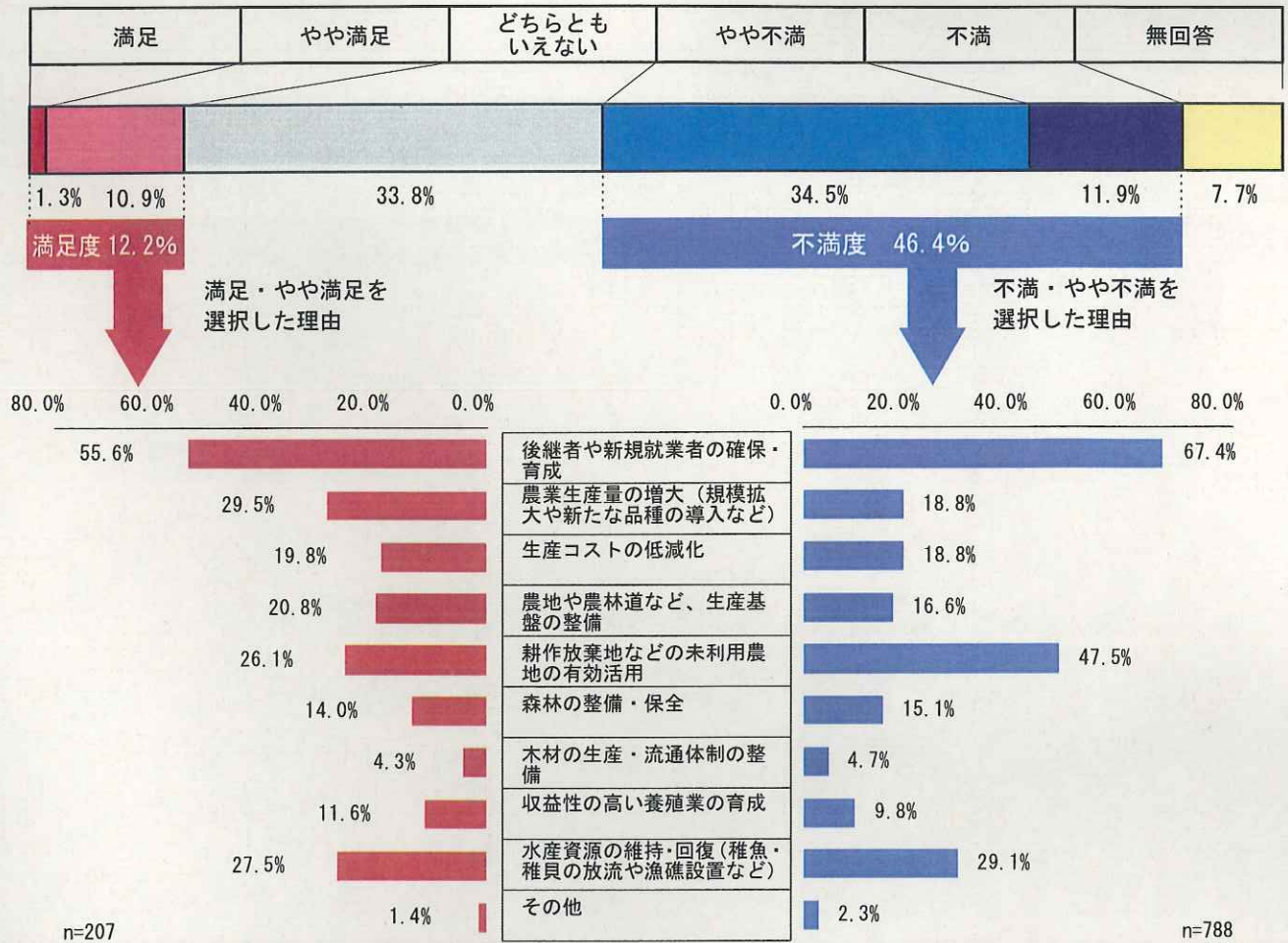
[5-7] 物産の振興



【分析結果】

- ・ 不満度（35.0%）が満足度（32.6%）を2.4ポイント上回ったが、県南地域（満足度：36.0%、不満度：31.8%）、県央地域（満足度：34.2%、不満度：33.1%）では満足度が不満度を上回っている。また、女性及び20～30歳代の年代でも満足度が不満度を上回っている。
- ・ 満足度の要因をみると、「地産地消の推進」が最も多く、県南地域、県北地域では他の地域に比べて多くなっている。次いで「商談会や物産展の開催、PR活動による県産品のブランド化」が続き、特に20～30歳代で他の年代に比べて多くなっている。（20歳代：66.7%、30歳代：68.1%）
- ・ 不満度の要因をみると、満足度の選択理由と同様に「地産地消の推進」が最も多く、地域別でもほぼ同様の傾向となっている。次いで「優れた製品の発掘や付加価値の高い商品の開発」となっており、県央地域（69.0%）では他の地域に比べて多くなっている。

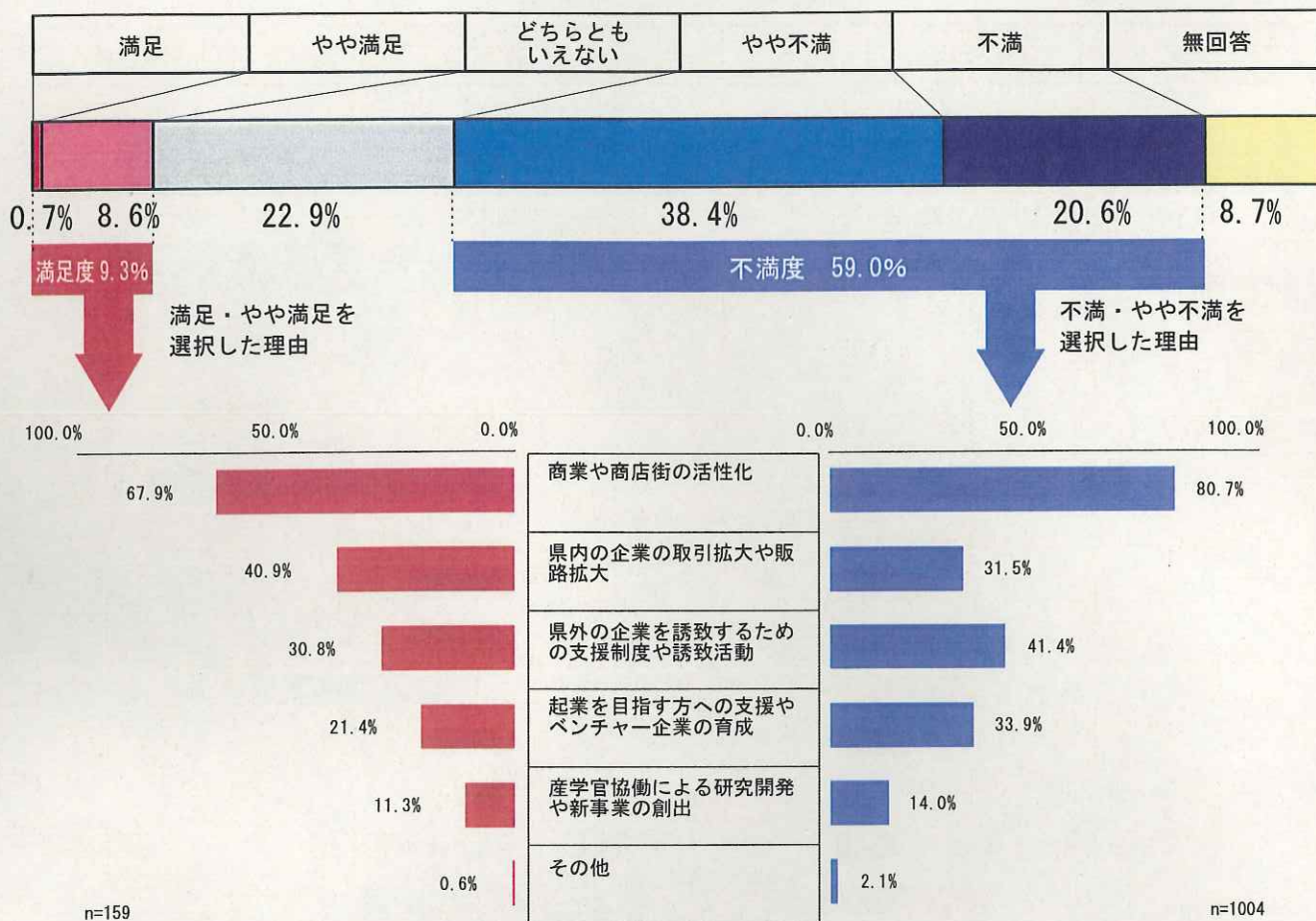
[5-8] 農林水産業の振興



【分析結果】

- ・ 不満度（46.4%）が満足度（12.2%）を 34.2 ポイント上回り、特に島原半島地域（55.9%）、離島地域（52.3%）の不満度が高い。女性（40.0%）に比べて男性（54.1%）の不満度が高く、年代別では50～60歳代の不満度が高い。（50歳代：53.1%、60歳代：50.0%）
- ・ 満足度の要因をみると、全ての地域で「後継者や新規就業者の確保・育成」が最も多くなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「後継者や新規就業者の確保・育成」が最も多くなっている。次いで「耕作放棄地などの未利用農地の有効活用」が続き、年代が高くなるとともに増加傾向となっている。

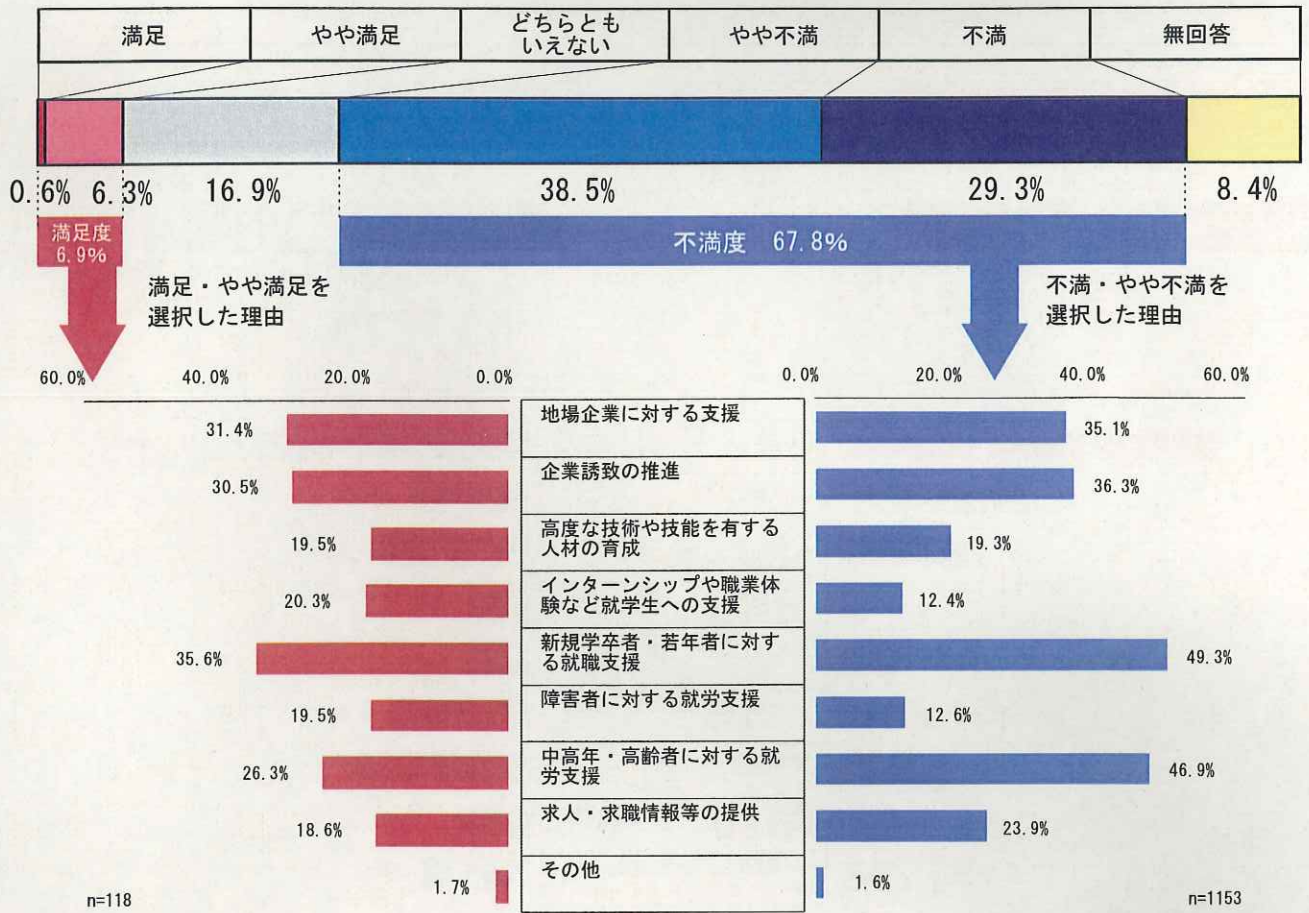
[5-9] 商工業の振興



【分析結果】

- ・ 不満度 (59.0%) が満足度 (9.3%) を 49.7 ポイント上回り、島原半島地域 (65.4%) では不満度が他の地域に比べて高くなっている。年代別では、30~50 歳代で不満度が 6 割を超えている。(30 歳代 : 65.0%、40 歳代 : 65.5%、50 歳代 : 64.0%)
- ・ 満足度の要因をみると、「商業や商店街の活性化」が最も多く、性別、年代別でも同様の傾向となっている。
- ・ 不満度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「商業や商店街の活性化」が最も多くなっている。次いで、「県外の企業を誘致するための支援制度や誘致活動」が続いている。

[5-10] 雇用対策



【分析結果】

- ・ 不満度 (67.8%) が満足度 (6.9%) を 60.9 ポイント上回った。満足度は全ての地域、年代で 1 割を下回り、不満度は 40~50 歳代で 7 割を超えている。
- ・ 満足度の要因をみると、「新規学卒者・若年者に対する就職支援」が最も多く、「地場企業に対する支援」、「企業誘致の推進」が続いている。
- ・ 不満度の要因をみると、「新規学卒者・若年者に対する就職支援」が最も多く、県南地域 (52.2%)、県央地域 (52.1%)、離島地域 (54.3%) で同様の傾向となっている。「中高年・高齢者に対する就労支援」は、県北地域 (49.2%) と離島地域 (49.5%) で他の地域に比べて多く、年代別では 40~60 歳代で多くなっている。